

地域の公民館として改めて考える

広報編

現状と問題

香焼公民館は小中学校や保育所、学童保育施設がある文教地区に位置し、大小の研修室や調理実習室、和室のほか350席余りのホールを有する。近年は主に、まちづくり協議会や民児協等の地元団体の会議、行政の文化・保健事業、武道・舞踊グループの練習などに利用されている。

一方、春や秋の講座では定員割れすることが多く、特に香焼地区からの申し込みが少ない。「講座に興味がない」人や「受けたい講座がない」という人も多いだろう。だが、「いつ、どんな講座が開催されているか知らない」人もまだいるかもしれない。情報が届けば受講につながるのではないかな…。

そこで、地元への広報のあり方について、改めて考えてみることにした。

取り組みと結果

これまで、講座開催のお知らせの手段といえば、全大型公民館の講座をとりまとめた「公民館講座チラシ」の広報紙への折り込みと、公民館や地域センターなどへの窓口設置が主なものだったが、今年度から折り込みをやめることが決まっていた。

また、地元への周知のために、香焼地区全世帯に配布される「香焼だより（香焼地域センター隔月発行）」に掲載してもらっていたが、発行のタイミングや紙面の都合もあり、十分な情報発信になっていたとはいえない。

これらのことから、以下のとおり自前の広報媒体による情報発信に取り組んだ。

公民館だよりの発行

<取り組み>

多くの大型館が発行している「公民館だより」を参考に「香焼公民館からのおたより」を7月に創刊。本紙を見た人が公民館に興味を持ち、来館・利用のきっかけになることを目指す。

講座については、受講者募集の周知のほか、これまで紹介する機会がなかった開催の様子などを掲載。また、香焼地区住民が親しみを感じるような地元ネタ、公民館を利用した地元の行事なども紹介している。

香焼地区の自治会に回覧をお願いしているほか、香焼地域センター、香焼図書館にも設置を依頼。

<結果>

来館者から「回覧で見たよ」という声やご意見をいただいたり、講座の募集記事を見た住民から申し込みを受けたりしたこともあったが、わずか数件。果たして、どれだけの住民の目に留まっているのか、読んでもらえているか、実態はなかなかつかめない。

そのような中、12月になって小さいながらも効果といえる現象がみられた。毎月開催している名作洋画の上映会の参加者は毎回1~5名程度だったが、12月に11名、1月には12名が参加。



初めて参加する人に何で知ったか尋ねると「おたよりで見た」とのこと。一度でも興味のある情報や有用な情報を得た人は、今後もおたよりをチェックしてくれるのではないかと期待している。

各種チラシの作成

● 夏休み子ども講座

<取り組み>

受講者募集にあたり、近年は各学級へのポスター掲示依頼にとどめていた香焼小学校に全児童へのチラシ配布を依頼した。近隣の小学校には、従前どおり各学級へのポスター掲示を依頼。

<結果>

チラシが保護者まで届かなかったのか、内容に興味を持たれなかったのか、申し込みが少なく、個別の声かけにより受講者を集めた。児童が持ち帰ったチラシを見たという保護者の声を聞いたのは1件のみ。

● 映画と時代を考える（各作洋画上映会）

<取り組み>

半期ごとに作成していた、日程と演題のみのチラシのほかに、簡単な内容を紹介するB6サイズのチラシを毎月作成した。

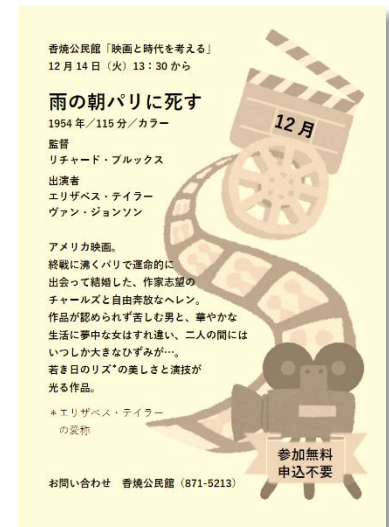
往年の名画を懐かしく思って観に来る人が多いと思われるが、知らない映画でも内容を知れば興味の湧く人もいるのではないかと考えたもの。

事務室の窓口に設置するとともに、講座受講者に配布したり、貸館の際は受付に置かせてもらったりした。また、香焼図書館にも設置をお願いして周知に努めている。

併せて、上映会に来られた方には次回のご案内として手渡し、次の参加につなげるツールとして使用。

<結果>

窓口に設置しているチラシを持ち帰る人は皆無に等しい。図書館からは「持っていく人はいる」と聞いているが、今のところ参加につながっている様子はない。



課題とこれから

公民館の利用を促進するには、「魅力ある企画」や「使いやすい施設」であることはもちろん、それらを知ってもらうための広報が不可欠だ。また、公民館の今後の役割を考えていく上でも、地域とつながり続けることが大切であり、住民が“公民館に親しみを感じ、興味を持つ”ような情報を発信し続けていく必要があると考える。

今回の取り組みで、情報を届ける難しさ、情報を受け取った人を動かすことの難しさを改めて思い知らされた。今後は、媒体ごとに紙面や配布方法などを見直ししながら、利用につながらないまでも地域の中で公民館が再認識されるよう、広報を充実させていきたい。

(文責 水芦 嘉子)